



# NCBN ニュースレター



平成 28 年 4 月 30 日  
第 2 巻 第 5 号

NCBN 中央バイオバンク事務局, 〒162-8655, 東京都新宿区戸山 1-21-1, 国立国際医療研究センター内  
<http://www.ncbiobank.org/> [secretariat@ncbiobank.org](mailto:secretariat@ncbiobank.org) Tel: 03-5273-6891

## はじめに

### この号の内容

- 1 はじめに
- 2 NCCHD より
- 3 NCBN の活動近況

ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク (NCBN) を構成するバイオバンクのうち、国立成育医療研究センターのバイオバンクの活動について、ご紹介します。次に NCBN 全体としての活動の近況をご報告いたします。

## 国立成育医療研究センター (NCCHD) バイオバンクより

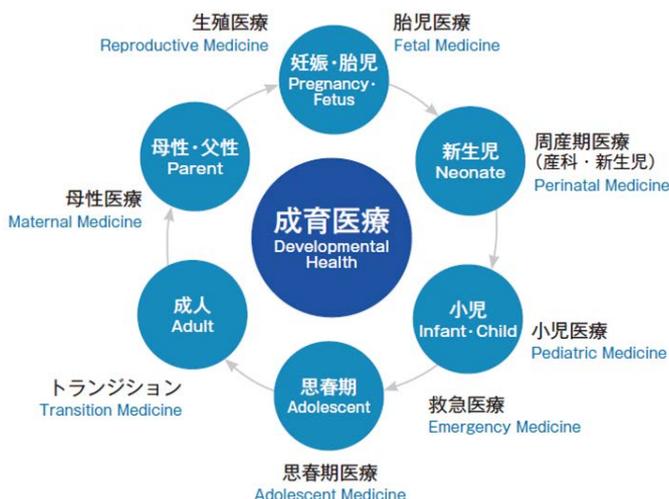
網代 典子 (成育バイオバンク事務局)

### NCCHD ローカルバンクの特徴

成育バイオバンクは、胎児から小児、そして妊娠中の母親に関する疾患 (成育疾患) 克服を目的としたバンクです。小児難病・希少疾患をはじめ、患者である児・その両親・および近親者といった患者家族の試料を連結可能匿名化したうえで収集し、短期的には臨床情報と遺伝子配列情報の統合データベースの構築を進めています。

患者だけでなく、近親者の試料を収集しているため、遺伝学的な原因解明に役立つ試料がそろっています。また、非常に希少な疾患試料が全国から集まっています。

出産というイベントのときにしか得られない胎盤、臍帯血といった、非常に特殊な成育ならではの試料も数多く集まっています。



## NCCHD ローカルバンクの活動報告

昨年度、成育バイオバンクはパンフレットと HP (<http://www.ncchd.go.jp/scholar/research/section/bb/index.html>) をリニューアルいたしました。どちらも国立国際医療研究センター（NCGM）バイオバンクにご協力いただき、「子ども」と「大人」が大きく手を広げ、大きな木をつくっているという、明るくて、親しみやすく、分かりやすい内容になっています。NCGM バイオバンクと同じデザインをベースにすることで、人々の病気を克服するという共通の目標に向かっているという統一感を出しています。



また、平成 27 年 7 月から、小児希少・未診断疾患イニシアチブ（IRUD-P: Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases in Pediatrics）が始まり、各診療科と連携しながら希少・未診断疾患の患者の同意取得・試料収集をセンター内で行っています。こちら患者と近親者の方々にご協力いただき、主に次世代シーケンサーによるエクソーム解析を行い、疾患原因の解明に取り組んでいます。

診断のつかない子どもたちと、  
そのご家族のために。

原因不明で治療の進まない症状の子どもたちとご家族で救う。  
全遺伝子解析等による病気の原因と特定するプロジェクト  
「小児希少・未診断疾患イニシアチブ」は、はじまりました。

小児希少・未診断疾患イニシアチブ【アイランドビー】

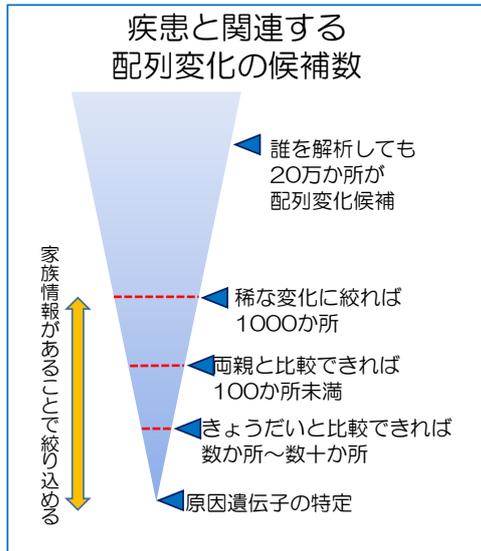
**IRUD-P**  
Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases in Pediatrics

IRUD-P@ncchd.go.jp  
TEL 03-5263-8127  
http://ncchd.go.jp/ncchd/irudp/

irud@skip.med.keio.ac.jp  
TEL 03-5263-2806  
TEL 03-5263-2806

### 患者・近親者のゲノムDNA解析

患者・その両親やきょうだいのゲノムを一緒に解析することによって、遺伝子変異の有無をより高い精度で調べることができます。



また、全国の地域拠点医療機関から寄せられる試料のうち、バンクに同意された方の試料を受け入れています。

H26年に当センターの電子カルテシステムが更新され、それによって試料匿名化システムやサンプル管理システムとの連携も見直しが必要となりましたが、今年度中には連携が完了する予定です。また各部門との連携調整により、試料情報の突合が可能となりましたが、H26年10月よりNCBNカタログデータベースに成育バイオバンク実試料数を迅速に反映できるようになり、懸案事項であった実試料数とデータベース上の試料数の齟齬を解消することができました。

現在では、既存試料の移管手続きに取り組んでいます。バイオバンクに寄託・分譲された試料情報の整備を行い、豊富なラインナップを提示できるよう進めています。

また、分譲・共同研究の申請手続きの整備を行っており、多くの方にご利用いただけるよう、より利用しやすいバイオバンクを目指し、引き続き基盤整理を行っていく予定です。

### NCCHD バイオバンクの保有試料概数（延べ検体数、平成28年3月末現在）

6NC	登録者数	総検体数	試料の種別ごとの検体数（総検体数の内訳）				
			DNA	血漿	血清	組織	その他
新規試料群（包括的同意あり）	663	1,309	660	0	453	196	0
既存試料群 / 包括的同意のない新規試料	0	0	0	0	0	0	0

## NCBN の活動近況

### 中央バイオバンク事務局

#### (1) セミナー・情報公開

##### 【BIO tech 2016】

2016年5月11日（水）－13日（金）の3日間 東京ビッグサイトで開催される BIO tech 2016 のアカデミック フォーラムに出展します。

BIO tech 2016 の URL: <http://www.bio-t.jp/ja/>

\*5月11日アカデミックフォーラムで NCBN の加藤規弘事務局長が講演します。

<https://may2016.tems-system.com/exhiSearch/BioForum/jp/Workshop>

#### (2) サンプル収集状況（平成 28 年 3 月末日現在）

##### 6NC バイオバンクの保有試料概数（延べ検体数、平成 28 年 3 月末日現在）

6NC	登録者数	総検体数	試料の種別ごとの検体数（総検体数の内訳）				
			DNA	血漿	血清	組織	その他
新規試料群（包括的同意あり）	44,226	127,241	33,551	33,396	15,039	15,096	30,159
既存試料群 / 包括的同意のない新規試料	31,581	44,498	13,617	4,211	1,989	17,104	7,577

#### (3) 収集試料研究活用の成果

バイオリソースを活用した研究成果は、

<http://www.ncbiobank.org/research/research.html>

よりご覧いただけます。



ナショナルセンターとは、国立高度専門医療研究センターのことで、日本全国に6カ所ある国立研究開発法人です。

- 国立がん研究センター
- 国立循環器病研究センター
- 国立精神・神経医療研究センター
- 国立国際医療研究センター
- 国立成育医療研究センター
- 国立長寿医療研究センター

#### ナショナルセンター・バイオバンク ネットワーク(NCBN)

##### 中央バイオバンク事務局

162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

国立国際医療研究センター内

電話番号:

03-5273-6891

FAX 番号:

03-5273-6892

電子メール:

secretariat@ncbiobank.org